

令和元年度補正 重点分野・テーマ別の販売促進活動報告書

令和2年10月30日

JA全農インターナショナル(株)

令和元年度補正 重点分野・テーマ別の販売促進活動について、記1の補助事業を活用して記2のとおり実施したので報告いたします。

記1

令和元年補正輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業のうち「重点分野・テーマ別の販売促進活動」

記2

対象国・地域 : 香港 (ぶどう)

実施期間 : 令和2年 9月17日(木)～10月22日(木)

「香港 小売店舗 JA全農フェア」

1. 『香港 小売店舗 JA全農フェア』について

- (1)実施期間 : 令和2年 9月17日(木)～10月22日(木)
- (2)場所 : Don Don Donki 3 店舗、Don Don Donki 催事場1店舗
- (3)出席者 : 全農インターナショナル香港有限公司 佐藤担当
- (4)内容 : 旬のぶどう類を期間を通じて売り場で展開、日本産の品質の良さをアピールした。
- (5)販売青果物
ブドウ類(シャインマスカット、巨峰、ピオーネ、甲斐路など)
- (6)着荷状況
今回は期間を通じ、船便で納品した。パレタイズ、コーナーガードを行い、概ね品質は良好のまま販売はできた。



着荷状況。船便だけど販売は順調にできた



売り場の様子。冷蔵ケースでないが、タイムリーな品出しで、お客様に新鮮な日本産青果物をPR、提供できた

2. 所感

他国からの輸入量も多い「ぶどう類」だったが、「日本産はやっぱり美味しいわ」と同じ顧客が、リピートして購入しているとの声を頂いた。約1か月間。売り場でPRL続けたが、昨年を大きく上回る実績となった。

船輸送を危惧したが、コーナーガードで丁寧な輸送を試み、概ね良質の商品を輸送できた。フォワーダー会社の尽力のおかげでもあった。

次年度は香港以外の国にもチャレンジし、水平展開したいと考える。

3. 今後の進め方

引き続き、品種を増やししながら、長期間の販売に努める。鮮度保持技術と仕入開拓を並行して行い、輸出総額の上積みを実施したい。